



災害時の飲料水確保に役立つ「もしも!リュック」

市総合防災訓練（6月8日・宝永小学校）

## 6月 定例会 正副議長など各役職を選出

6月定例会は、6月3日から6月20日までの18日間の会期で開かれました。

今定例会では、正副議長の辞職に伴う選挙や監査委員、常任委員会委員などの各役職の選出が行われました。

また、平成20年度一般会計補正予算を初め、福井市市税賦課徴収条例の一部改正など、市長提出の議案16件、報告33件を審議した結果、議案は13件を原案どおり可決、3件に同意し、報告については7件を承認、26件を受理しました。

また、請願、陳情については、今回新たに提出された請願2件と陳情1件、3月定例会において継続審査となっていた請願1件を審議した結果、請願については1件を採択、1件を不採択、1件を継続審査とし、陳情1件については採択することに決定しました。

さらに、議員提出議案として、「農業農村整備の着実な推進を図る組織制度の維持を求める意見書について」及び「食料・農業・農村政策に関する意見書について」の2件を審議した結果、いずれも原案どおり可決し、関係機関に意見書を提出することに決定しました。

そのほか、市政に対する一般質問を20人の議員が行い、20日に予定した日程を全部終え閉会しました。

INDEX	
【主な内容】	
1	6月定例会の概要
2	議会の構成
3	主な議案
3-4	委員会審査
4-6	一般質問
6-7	予算特別委員会
7	議会日誌
7-8	議案等の審議結果

議会の構成

◆ 宮崎 弥磨 議長



宮崎議長は市議当選4回で、この間、建設、総務委員長、議会運営委員長のほか、企業会計決算、県都活性化対策特別委員長などを歴任しました。

【住所】

福井市加茂河原町30-25-5

◆ 皆川 信正 副議長



皆川副議長は市議当選3回で、この間、建設、経済企業委員長などを歴任しました。

【住所】

福井市花堂中2丁目28-26

福井市議会委員会委員一覧

(敬称略)

委員会名		委員名			
常任委員会	総務	◎青木 幹雄 田辺 義輝 山口 清盛 皆川 信正 奥島 光晴	○塩谷 雄一 吉田 琴一 松山 俊弘 浜田 篤		
	建設	◎見谷 喜代三 中谷 輝雄 巳寅 令子 今村 辰和 島川 由美子	○後藤 勇一 加藤 貞信 堀川 秀樹 鈴木 正樹		
	教育民生	◎野嶋 祐記 近藤 高昭 宮崎 弥磨 田村 勝則	○下畑 健二 栗田 政次 高田 訓子 峯田 信一		
	経済企業	◎谷出 共栄 西村 公子 石川 道広 稲木 義幸 西本 恵一	○堀江 廣海 谷口 健次 川井 憲二 石丸 浜夫		
議会運営委員会	◎今村 辰和 近藤 高昭 石川 道広 石丸 浜夫 西本 恵一 峯田 信一	○高田 訓子 加藤 貞信 稲木 義幸 野嶋 祐記 堀江 廣海			
特別委員会	予算	◎石川 道広 田辺 義輝 近藤 高昭 松山 俊弘 稲木 義幸 野嶋 祐記 青木 幹雄 鈴木 正樹 峯田 信一	○後藤 勇一 中谷 輝雄 加藤 貞信 見谷 喜代三 高田 訓子 谷出 共栄 田村 勝則 島川 由美子 下畑 健二		

委員会名		委員名			
特別委員会	行財政改革	◎松山 俊弘 西村 公子 後藤 勇一 青木 幹雄 下畑 健二	○高田 訓子 川井 憲二 谷出 共栄 峯田 信一	①定員管理の適正化 ②徹底した事務事業の見直し ③市の関連団体の財政の透明化 ④遊休資産の活用及び処分	
	県都活性化対策	◎山口 清盛 栗田 政次 稲木 義幸 西本 恵一 奥島 光晴	○巳寅 令子 石川 道広 野嶋 祐記 堀江 廣海	①中心市街地の活性化 ②総合交通計画 ③産業基盤の確立 ④県都の顔づくりと交流人口の拡大	
	子育て・青少年育成等対策	◎田辺 義輝 中谷 輝雄 堀川 秀樹 島川 由美子	○田村 勝則 吉田 琴一 塩谷 雄一	①子育て・少子化対策 ②青少年の安全・安心対策及び健全育成 ③高齢者等へのスポーツ普及・交流	
	農林水産業振興対策	◎近藤 高昭 加藤 貞信 見谷 喜代三 今村 辰和	○石丸 浜夫 谷口 健次 浜田 篤 鈴木 正樹	①農林水産業の経営基盤の強化と人材育成 ②農山漁村の多面的機能保全と地域資源の掘り起こし ③環境問題 ④食育・地産地消	

◎委員長 ○副委員長 ①～④は各特別委員会の調査事項

議会選出の各役職一覧

(敬称略)

監査委員	川井 憲二	西本 恵一					
福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会議員	田辺 義輝	中谷 輝雄	宮崎 弥磨	皆川 信正			
こしの国広域事務組合議会議員	石丸 浜夫	高田 訓子	西本 恵一	塩谷 雄一			
鯖江広域衛生施設組合議会議員	栗田 政次	今村 辰和	下畑 健二				
福井県後期高齢者医療広域連合議会議員	巳寅 令子	田村 勝則	鈴木 正樹				
農業委員会委員	加藤 貞信	宮崎 弥磨	川井 憲二				
土地開発公社理事	谷口 健次	松山 俊弘	見谷 喜代三	堀川 秀樹			
都市計画審議会委員	吉田 琴一	山口 清盛	宮崎 弥磨	皆川 信正			
民生委員推薦会委員	稲木 義幸						
青少年問題協議会委員	吉田 琴一	堀江 廣海					
少年愛護センター運営委員会委員	浜田 篤	下畑 健二					
社会教育委員	野嶋 祐記						
通学区審議会委員	中谷 輝雄	近藤 高昭					
学校給食運営委員会委員	巳寅 令子	野嶋 祐記	峯田 信一				
国際交流協会理事	西村 公子	島川 由美子					
	後藤 勇一	谷出 共栄	奥島 光晴				
	石川 道広	青木 幹雄	奥島 光晴				

# 主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、7～8頁に掲載しています。

## 平成20年度補正予算

今回の補正は、福井鉄道福武線支援事業、道路災害復旧事業、林道施設災害復旧事業、集落間連絡道路整備事業及び木造住宅耐震改修促進事業等のため一般会計で1億5,272万8千円を増額するもので、補正後の予算額は全会計で2,011億1,799万4千円となります。

任に、財政部税務事務所長、大谷藤一氏を選任することに同意しました。

### 人権擁護委員

平成20年9月30日をもって任期満了となる中西美代子氏、柳本秀男氏、荒川洋美氏、古瀬彌氏を引き続き同委員に推薦し、退任される上田雅明氏の後任として栗波昭文氏を新たに推薦することに意見を求められ、適任であると答申しました。

## 条例

### 福井市市税賦課徴収条例の一部改正(コウ)

・地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、条例の一部改正を行うもの。  
・国民健康保険法の一部改正等に伴い、条例の一部改正を行うもの。

## 人事案件

### 固定資産評価員

三谷元道氏の辞任に伴い、後

# 委員会審査

各特別委員会、各常任委員会の委員長報告から主な質疑等の要旨を紹介します。

## 農林水産業振興対策特別委員会

### 《地域振興対策》

**問** エコ・グリーンツーリズムについて、伝統文化も取り入れながらコースを考える必要があると思うがどう考えているのか。

**答** 平成19年度のコースでは、美山地区の伝統料理を提供したが、今後は、様々な伝統文化そのものをコースに含めることを検討していきたい。

## 県都活性化対策特別委員会

### 《福井市都市交通戦略》

**問** 福井鉄道福武線の存続に向けて、沿線3市の動きが悪いと言われている中で福井市はどのような役割を果たしていくのか。

**答** 3月定例会で示したスキームに基づき、鉄道用地の取得と乗る運動を的確に行うことが沿線3市の役割であると共に、国庫補助制度を活用するための地域公共交通総合連携計画を策定するために、法定協議

## 行財政改革特別委員会

### 《団体事務改善の方向性》

**問** 福井市に置く事務局を各種団体へ移管した場合に、福井市はその分を補助金として交付するのか。

**答** 各種団体の事務局移管については、業務量だけでなく、団体の活動目的などを総合的に検討したもので、補助金の増額を最初から想定しているものではない。今後、団体と協議を行っていく中で、どのような形での移管が最もよいのかを検討していく。補助金の増額が必要と判断されれば、新年度予算で対応する。

## 子育て・青少年育成等対策特別委員会

### 《(仮称)福井市清水保育園》

**問** 引き継ぎ保育の方法、及び民営化後の市の指導・監督についての考え方は、

**答** 引き継ぎ保育については、通常2カ月以上必要とい

## 建設委員会

### 《福井鉄道福武線支援事業》

**問** 福井鉄道福武線の支援について沿線3市の対応に温度差があるように見えるが、どう考えているのか。

**答** 沿線3市の熟度が同じレベルではないという認識は持っているが、法定協議会や乗る運動の推進母体ができている中で、それぞれの認識を一致させていき、さらに全市民的に協力を求めていく運動に展開していく必要がある。

## 総務委員会

### 《クリーンセンター関連の工事請負契約の締結》

**問** 安易に随意契約をすべきでないと考えるがどうか。また、今後の審査体制の方針は、

**答** 貴重な市民の税金を使う仕事であり、極力、競争入札に付すような形で進めていく。随意契約とするかどうかは、

法令で許された理由に合致するかを慎重に見定めて判断していく。また、設計、契約時審査及び工事の施工管理の機能の強化を図っていきたい。

《農地集積実践事業》

**問** 対象になるには国の要件が厳しく、実績件数が少ない。そのため、全体として耕作放棄地を解消するのは難しく、要件の緩和に取り組んでほしいがどうか。

**答** 耕作条件のよい地域が主に対象となっており、中山間地など、耕作条件がよい地域については進捗が遅いが、福井市全域で取り組みを行っていききたい。根本的な担い手の問題も解消していかないといいな

いが、集積することによって効率的な低コストの生産形態を確立していきたい。

《教育民生委員会》

**問** 福井市野球場を廃止し、残る外苑部分を福井市東公園グラウンドとして管理することだが、野球場跡地は中心市街地に近く、新幹線誘致に関する利用等も考えられる中で、今後の中長期的な利用方法は考えているのか。

**答** 福井市野球場の取り壊し後は当面、公園機能を備えた更地として整備する。その上で、今後の利用方法については恒久的施設として捉え、全庁的な課題とし、市民の意見を踏まえながら検討していきたい。

消防の広域化

**問** 福井地区消防組合から福井市消防局に移行したことの評価と国の推進する消防広域化についての本市の考え方は。

**答** 市の一組織となったことにより、消防局と危機管理室など関係部局の連携がスムーズに行われ、情報の収集や関係者への指示、付近住民への迅速な避難誘導、二次災害の防止と被害の拡大防止など、災害の状況に応じた素早い対応が可能になった。

消防の広域化については、災害発生時における初動態勢の強化と効果的な部隊運用、さらには現場到着時間の短縮などを前面に出して、財政運営の効率化とあわせ、十分検討していきたい。

環境政策

**問** ISO14001、家庭環境ISO、学校環境ISOのこれまでの成果と今後の取り組みは。

**答** 平成18年度の福井市役所の温室効果ガスの排出量は平成11年度比で7・7%削減したほか、職員の環境保全に対する意識も確実に定着してきた。家庭においては約8千世帯が家庭版ISOに参加しており、平成22年度までに1万世帯の参加を目指す。学校においては市内全68校が学校版環境ISOに参

加。今後も継続実施し、児童・生徒の環境意識の啓発に努めていく。

下水処理施設整備

**問** 現在の下水処理施設の整備状況は。

**答** 平成19年度末における人口普及率は公共下水道事業で76・6%、集落排水事業で4・0%、合併処理浄化槽で1・8%、全体の人口普及率は82・4%である。公共下水道では麻生津地区、東郷地区の市街化地区及び西安居地区を中心に事業を推進し、また流域関連下水道の森田地区では森田北東部土地画整理事業に合わせ整備を行う。さらに特定環境保全公共下水道においては本年6月に美山浄化センターの供用を開始し、美山処理区の普及拡大に努めている。集落排水事業では、現在6地区が施工中、そのうち3地区は平成20年度に完成予定。合併処理浄化槽については、本年度350基の予算措置を行い、整備促進を図る。

自己触診法及び早期発見に関する啓発用パンフレットを公民館などに配布し、市民の意識向上に努めている。今後、健康づくり関係団体等と連携し、受診率向上のため普及啓発に努めていきたい。



北陸新幹線

**問** 地元負担や並行在来線問題が不透明な中、新幹線整備を急ぐ必要があるのか。

**答** 北陸新幹線の東京―大阪間の沿線には東海道新幹線に匹敵する4千万人を超える人口集積があり、新たな交流の増大による経済効果が大いに期待できる。県内には現在新幹線も定期航空路線もなく、公共交通体系から置き去りにされている状況であり、このまま金沢市までの開業となれば、本市は都市間競争に大きく取り残され、地域間格差が拡大することが懸念され、新幹線の早期整備は必要不可欠であると考えている。

乳がん検診

**問** 乳がん検診受診率を高めるため、現在どのように取り組んでいるのか。

**答** より多くの市民が受診できるように多くの休日検診を実施しているほか、今年度からは個別医療機関での乳がん検診を新たに実施している。また乳がん

当面する諸問題について市の考え方を質問するため、20名の議員が一般質問を行いました。その中から主なものの要旨を掲載します。

一般質問

質問者（質問順）

- 堀江 廣海
- 山口 清盛
- 西村 公子
- 見谷 喜代三
- 高田 訓子
- 島川 由美子
- 下畑 健二
- 後藤 勇一

- 奥島 光晴
- 鈴木 正樹
- 巴真 令子
- 塩谷 雄一
- 稲木 義幸
- 今村 辰和
- 青木 幹雄
- 谷出 共栄
- 吉田 夢一
- 堀川 秀樹
- 浜田 篤
- 野嶋 祐記

（敬称略）

新型インフルエンザ対策

**問** 新型インフルエンザ対策における県や関係機関との協働体制は。

**答** 緊急時には、感染拡大を阻止し、社会経済の破綻回避のため、迅速かつ的確な対応が必要となる。ふだんから国や県はもとより、医療機関、通信、電気、交通、輸送、金融等と密接な関係を構築しておくことが社会機能を維持する上で大変重要である。今後は国や県からの情報収集に努めるとともに、市内及び関係機関、団体との具体的な協働体制について、調査研究していく。

企業誘致

**問** 企業誘致への取り組みは。

**答** 市内外の企業を訪問し、テクノポート福井や福井市中央工業団地のPR活動を初め、優遇制度の説明や立地に関する意向調査を実施するほか、県外企業の進出動向をいち早く察知するため、県や関係機関との情報交換も積極的に行っている。さらに、進出した企業へのフォローアップ支援を継続しながら企業誘致に係る情報の収集にも努めている。

公社の方向性

**問** 今後の公社のあり方、方向性は。

**答** 福祉公社、公共施設等管理公社については、指定管理者制度の導入や本年12月に施行される公益法人制度の改革により、公社の必要性そのものを問い直す時期にきている。また、平成22年度には次の指定管理者の選定を控え、早急に明確な方向づけが必要であるが、公社職員の雇用問題を含めた課題もあるため、公社と十分に協議し、慎重に進めていきたい。

**問** 交流人口、宿泊人口の増加策として、学生の合宿誘致への取り組みは。

**答** ゼミや合宿誘致に向けた県観光連盟主催の先進事例講演会に参加するなどして考察を深めている。昨年度は鷹巣荘やみらくる亭が大学や高校のクラブに働きかけ、本市での合宿による宿泊実績を残している。今後はこの流れを市内の宿泊事業者に波及させ、本市の交流人口の増加を促していきたい。

交流人口増加策

**問** 交流人口、宿泊人口の増加策として、学生の合宿誘致への取り組みは。

**答** ゼミや合宿誘致に向けた県観光連盟主催の先進事例講演会に参加するなどして考察を深めている。昨年度は鷹巣荘やみらくる亭が大学や高校のクラブに働きかけ、本市での合宿による宿泊実績を残している。今後はこの流れを市内の宿泊事業者に波及させ、本市の交流人口の増加を促していきたい。

農商工連携

**問** 農商工連携による第6次産業化についての取り組みは。

**答** 農商工連携によって、農林水産業者は農林水産物の販路拡大、売れる物づくりへの転換や直接加工、販売の拡大が想定される。また、商工業者は自社の技術、ノウハウを活用した農林水産業への進出、農林水産資源活用によるビジネスチャンスへの拡大などの成果が期待できる。近年、本市においてもプラスチックメーカーが農業に参入し、自社で栽培したナツメの実を使い、菓子や健康食品を製造販売するなどの事例もあり、今後は地域経済の活性化のため、このような取り組みを促していく。

後期高齢者医療制度

**問** 介護認定者が後期高齢者健診の対象者から除外され、高齢者の健康づくりに対する施策が後退しているのでは。

**答** 後期高齢者健診は福井県から補助を受け、福井市が実施するもので、目的は後期高齢者に健康診査の機会を提供することで生活習慣病を早期に発見し治療につなげることにある。また、生活機能評価の対象者については、介護認定者は主治医が意見書を記入するに当たり基本的な診察を受け、医療の必要性

が認められる場合は医療を受けることから、生活機能評価の対象から除くとされている。これに伴い、健康診査の重複を避けるため、後期高齢者健診事業の通知対象者から介護認定者を除くとしているが、健診を希望された場合は受診することができ、後期高齢者については、公民館などで実施する集団健診と医療機関で受診する個別健診があるので活用してほしい。

管理職の女性登用

**問** 本市管理職の女性登用についての考え方は。

**答** 行政課題全般に関し、専門的知識を備えた職員を育成するため、毎年、女性の中堅職員1名を自治大学校第2部課程に派遣しているほか、市町村アカデミーの女性リーダー研修に主幹級の女性職員1名を派遣するなど各種研修への女性職員の派遣に努めている。今後もできるだけ多くの女性職員を派遣し、女性職員の能力を養成し、女性リーダーの育成を図ってきたい。

地方道路整備財源

**問** 平成21年度以降一般財源化を検討している道路財源に対する国への要望内容は。

**答** 幹線道路の整備、老朽化している橋のかけかえ、歩道のバリアフリー化、区画整理事業の推進等に対し市民から大きな期待が寄せられており、平成21年度以降も道路財源を確保することは必要不可欠である。地方における真に必要な道路整備の財源を安定的に確保するため、これまで以上に予算獲得に向けて関係機関へ強く要望していく。

児童クラブ

**問** 児童クラブの受け入れ対象を拡大する計画はあるのか。

**答** 放課後児童の1、2年生の入会希望者の完全入会を目指して対応を図っており、定員に余裕が出た場合に3年生を受け入れるため、3年生が入会できない地区が出てくる。保護者の要望を受けて、できるだけ児童クラブを設置していきたい。

住宅の耐震化

**問** 木造住宅耐震診断の状況及び今後の取り組みは。

**答** 平成17年度からの3年間で451件の木造住宅の耐震診断を実施。市政広報やパンフレットによる広報活動などによって住宅耐震化の重要性や



軽度発達障害

**問** 軽度発達障害を持つ子供たちを早期発見し、早期対応するための学校における対策は。

**答** 医師を含む専門家で構成する心身障害児就学指導委員会を設置し、保育園、幼稚園と連携しながら就学相談会を開催している。また、特別支援教育コーディネーターや校内支援委員会を設置し、学校全体で支援している。

危機管理

**問** 災害に関する避難勧告、指示等の情報伝達の強化についての取り組みは。

**答** 旧福井市域にモーターサイレンつきスピーカーを88基、スピーカーのみを30基、合計118基を整備している。災害発生時や災害のおそれがあるときには、同報系防災無線だけでなく携帯電話の災害情報メール配信、テレビやラジオ、広報車、自治会連合会長等への電話連絡など、あらゆる手段を用いて情報伝達を行う。

原子力発電所

**問** 原子力発電所に関する安全対策への考え方は。

**答** 従来から国、県へ原子力発電所の安全対策について

要望しており、昨年度は原子力災害への対応体制の強化として、測定資機材、防護マスクや防護衣等の防護資機材の整備等を要望した。今後も市民生活の安全・安心の確保はもとより、電源三法交付金制度を活用した産業振興や観光開発などの地域振興策について、地元の意向を尊重しながら、県に対して強く要望していく。

橋梁の災害復旧

**問** 福井豪雨災害で被害を受けた美山地区の橋梁の復旧状況はどうか。

**答** 高田橋は既に下部工が完了し、来年3月の供用開始を予定している。岩屋橋は現在上部工を施工中で9月28日の供用開始を予定している。美山橋は下部工が8月中旬に完了し、来年3月の供用開始を予定している。

市営住宅

**問** 公営住宅法施行令の改正による市営住宅への影響と対策は。

**答** 改正により入居するための収入基準額が引き下げられている。また、入居者負担額などが見直され、家賃が上がる方もいる。既に入居され、新たな収入基準を上回る方には5年間適用の猶予措置を、改正に

より家賃が上がる方には激変緩和措置などの対策を考えている。今後は入居者の代表を含めた住宅問題懇話会で検討し、10月ご

ろから順次団地ごとに説明を行い、入居者への周知や理解に努め、平成21年4月からの新入居基準、新家賃の適用に備える。

予算特別委員会

委員長報告から主な質疑等の要旨を紹介します。

審査結果

6月3日の本会議において予算特別委員会に付託された各予算議案及び市政上の重要案件について審査するため、6月13日及び16日に委員会を開催しました。審査の結果、付託された予算議案及び報告については、いずれも原案どおり可決承認しました。(議案名は7〜8頁参照)

主な質疑

《ふるさと納税》

**問** ふるさと納税による寄附は貴重な財源であるが、どのように寄附を呼びかけているのか。

**答** 市のホームページに案内を掲載するとともに、職員に対して周知徹底を図っており、今後は市政広報で広く市



民に周知するほか、県と17市町とで設立した「福井ふるさと納税推進協議会」を通じて福井市独自の特色をアピールしていきたい。

《市税と市政政策の整合性》

**要望** 市周辺部では土地の固定資産税が上がっている中、市中心部では区画整理事業や再開発事業など多額の投資を行っているにもかかわらず土地の固定資産税が下がっており、なおかつ都心居住推進として100万円円の市の補助制度があることに納得できないという声がある。市周辺部の現状を十分考慮し、今後政策的な補助制度をつくるべきは慎重に考えてほしい。

《災害時要援護者避難支援制度》

**問** 支援が必要なのに申請書が未提出の方の把握や、個別支援計画の作成、その支援計画について要援護者の同意を

どう取り付けるのか。また、各地区の自治会長や民生委員、社会福祉委員に対しどのような支援をしていくのか。

**答** 各地区においてこの制度に対する取り組みへの困難が生じているが、中長期的な視野に立って取り組むべき事業であり、市として各地区の担当者を決めて、自治会や自治会連合会、自主防災組織連絡協議会等と連携、協力しながら、各地区の状況に応じたよりよい方向で進めていきたい。

《福井鉄道福武線》

**問** 沿線3市ともに福武線存続のために予算計上した維持修繕費をどのような組織でどのように監査・監視をしていくのか。

**答** 維持修繕費については福井鉄道株式会社の経営に関する課題がはつきりするまでは、執行できない。鉄道事業会計規則に基づき、経営を明確にしながら、県、沿線3市で協力しながら、チェック体制のあり方を考えていきたい。

《学校施設の耐震改修》

**問** 県教育委員会は県内学校施設のうち60棟が大地震で倒壊のおそれがあると発表したが、どのように対応するのか。また、国の学校施設耐震化の補助制度の状況は。

**答** 該当する本市の施設は6校10棟であり、平成23年度までにすべての耐震補強工事

を終了する予定である。国では耐震補強工事にかかる補助率を現行の2分の1から3分の2にするなどの関連法案を可決した。児童生徒の安全確保を最重要課題とし、国の補助制度を積極的に活用し、計画の前倒しを含め前向きに取り組んでいきたい。

《農業の諸問題》

**問** 米を中心に農業を進めることは重要であるが、大豆についても減反政策の中で生産するのではなく、福井型農業として独自に取り組んでほしいか。

**答** 日本型食生活を展開する上で、大豆は重要な要素であり、生産量の拡大や技術的な部分も含め、県やJAと十分連携して取り組んでいきたい。

《農林漁業体験ツアー》

**問** 今後も継続するならば、宿泊先に地元民宿や旅館を利用できないか。

**答** 参加者に変好評で、これからも都市住民との交流事業として継続したい。昨年度と同程度の参加料金設定ならば、当然、民宿などにも参加いただきたいし、民宿側で独自に企画されるならば、できる限り協力したい。

議員の辞職

伊東敏宏議員から6月30日に辞職願が提出され、同日、許可されました。

議会日誌 (4月～6月)

4月10日	福井県市議会議長会定期総会(小浜市)
18日	全国市議会議長会道路暫定税率の回復と住民生活の安定を求める緊急大会(東京)
21日	全国市議会議長会第4回地方分権改革・道州制調査特別委員会(東京)
23日	北信越市議会議長会理事會、評議員會(富山市)
24日	北信越市議会議長会定期総会(富山市)
28日	議会議長會
5月15日	農林水産業振興対策特別委員会
19日	農都活性化対策特別委員会
20日	行財政改革特別委員会
22日	子育て・青少年育成等対策特別委員会
23日	全国競輪主催地議会議長会近畿部会総会(大津市)
26日	予算説明會、議會議員會
27日	全国市議會議長會理事會(東京)
28日	全国市議會議長會定期総会(東京)
29日	全国市議會議長會天皇陛下拝謁(東京)
30日	市議會議員共済會代議員會(東京)
6月1日	全国競輪主催地議會議長會定期総會
12日	正副会長・監事・相談役會議 役員會、第102回定期総會(東京)
19日	平成20年度福井県北陸新幹線建設促進同盟會理事會、総會
	北陸新幹線建設促進大会、
	平成20年度北陸新幹線建設促進同盟會総會(東京)
	東海北陸自動車道建設促進同盟會・東海環状道路建設促進期成同盟會合同総會(東京)
6月3日	議會議員會、全員協議會、本會議
4日	議會議員會
5日	議會議員會、建設委員會
6日	議會議員會、建設委員會
9日	議會議員會、建設委員會、經濟企業委員會
10日	本會議
13日	予算特別委員会
16日	予算特別委員会
18日	議會議員會
20日	全員協議會、本會議

議案等の審議結果

議案番号	件名	審議結果
第46号議案	平成20年度福井市一般会計補正予算	6月20日 原案可決
第47号議案	福井市風致地区内における建築等の規制に関する条例の一部改正について	// //
第48号議案	福井市常勤の特別職職員の退職手当に関する条例の一部改正について	// //
第49号議案	福井市市税賦課徴収条例の一部改正について	// //
第50号議案	福井市市税賦課徴収条例の一部改正について	// //
第51号議案	福井市集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	// //
第52号議案	福井市都市公園条例の一部改正について	// //
第53号議案	福井市体育施設条例の一部改正について	// //
第54号議案	工事請負契約の締結について (クリーンセンター中央制御装置更新工事)	// //
第55号議案	工事請負契約の締結について (クリーンセンターボイラーバンク蒸発管更新及び機器修繕工事)	// //
第56号議案	福井市土地開発公社定款の変更について	// //
第57号議案	工事請負契約の締結について (清水地区統合保育園新築工事)	// //
第58号議案	工事請負契約の締結について (社南小学校体育館増築工事)	// //
第59号議案	監査委員の選任について	6月3日 同意
第60号議案	監査委員の選任について	// //
第61号議案	固定資産評価員の選任について	6月20日 //
市会案第9号	農業農村整備の着実な推進を図る組織制度の維持を求める意見書について	// 原案可決
市会案第10号	食料・農業・農村政策に関する意見書について	// //

議案番号	件名	審議結果	
第1号報告	専決処分の承認を求めることについて（福井市市税賦課徴収条例の一部改正）	6月20日	承認
第2号報告	専決処分の承認を求めることについて（福井市手数料徴収条例の一部改正）	//	//
第3号報告	専決処分の承認を求めることについて（福井市市税賦課徴収条例の一部改正）	//	//
第4号報告	専決処分の承認を求めることについて（平成19年度福井市一般会計補正予算）	//	//
第5号報告	専決処分の承認を求めることについて（平成19年度福井市福井駅周辺整備特別会計補正予算）	//	//
第6号報告	専決処分の承認を求めることについて（平成20年度福井市国民健康保険特別会計補正予算）	//	//
第7号報告	専決処分の承認を求めることについて（平成20年度福井市老人保健特別会計補正予算）	//	//
第8号報告	平成19年度福井市一般会計繰越明許費の繰越しに関する報告について	6月3日	受理
第9号報告	平成19年度福井市一般会計事故繰越しの繰越しに関する報告について	//	//
第10号報告	平成19年度福井市簡易水道特別会計繰越明許費の繰越しに関する報告について	//	//
第11号報告	平成19年度福井市宅地造成特別会計繰越明許費の繰越しに関する報告について	//	//
第12号報告	平成19年度福井市集落排水特別会計繰越明許費の繰越しに関する報告について	//	//
第13号報告	平成19年度福井市福井駅周辺整備特別会計繰越明許費の繰越しに関する報告について	//	//
第14号報告	平成19年度福井市下水道事業会計継続費の繰越しに関する報告について	//	//
第15号報告	平成19年度福井市下水道事業会計予算の繰越しに関する報告について	//	//
第16号報告	平成19年度福井市水道事業会計継続費の繰越しに関する報告について	//	//
第17号報告	平成19年度福井市水道事業会計予算の繰越しに関する報告について	//	//
第18号報告	専決処分の報告について （福井市清明小学校における負傷事故に係る和解及び損害賠償額の決定について）	//	//
第19号報告	財団法人福井市公共施設等管理公社の平成19年度決算に関する報告について	//	//
第20号報告	財団法人福井市公共施設等管理公社の平成20年度事業計画等に関する報告について	//	//
第21号報告	福井市土地開発公社の平成19年度決算に関する報告について	//	//
第22号報告	福井市土地開発公社の平成20年度予算に関する報告について	//	//
第23号報告	財団法人越廼振興会の平成19年度決算に関する報告について	//	//
第24号報告	財団法人越廼振興会の平成20年度事業計画等に関する報告について	//	//
第25号報告	財団法人福井市福祉公社の平成19年度補正予算に関する報告について	//	//
第26号報告	財団法人福井市福祉公社の平成19年度決算に関する報告について	//	//
第27号報告	財団法人福井市福祉公社の平成20年度事業計画等に関する報告について	//	//
第28号報告	財団法人福井観光コンベンション協会の平成19年度決算に関する報告について	//	//
第29号報告	財団法人福井観光コンベンション協会の平成20年度事業計画等に関する報告について	//	//
第30号報告	財団法人歴史のみえるまちづくり協会の平成19年度決算に関する報告について	//	//
第31号報告	財団法人歴史のみえるまちづくり協会の平成20年度事業計画等に関する報告について	//	//
第32号報告	財団法人福井市漁業振興会の平成19年度決算に関する報告について	//	//
第33号報告	財団法人福井市漁業振興会の平成20年度事業計画等に関する報告について	//	//

6月定例会			
請願・陳情番号	件名	審議結果	
請願第3号	子どもの医療費の完全無料化を求める請願	6月20日	不採択
請願第7号	後期高齢者医療制度に関する請願	//	継続審査
請願第8号	農業農村整備の着実な推進を図る組織制度の維持を求める請願	//	採択
陳情第2号	食料・農業・農村政策に関する陳情	//	//

## 請願・陳情の審議結果



## インターネットで 会議録がご覧になれます！

福井市議会の平成8年以降の本会議録及び  
平成18年6月以降の委員会類末書をホームページでご覧いただけます。  
市議会のホームページのアドレスは次のとおりです。

<http://www.city.fukui.lg.jp/d570/sigikai/index.html>

お問い合せ  
議会事務局議事調査課  
TEL(0776)  
20-05-010

次回は  
**9月定例会**です。  
（日程が決まると次々ホームページで  
お知らせします。）

傍聴をしてみませんか。  
傍聴のできる会議

- 本会議
  - 一般席 91
  - 車イス用スペース 6
- 常任委員会
  - 総務
  - 建設
  - 教育民生
  - 経済企業
- 特別委員会
  - 行政改革・県都活性化対策
  - 子育て・青少年育成等対策
  - 農林水産業振興対策、予算

請願・陳情書等の  
提出について

請願・陳情などは、基本的にいつでも提出できますが、年4回（3・6・9・12月）開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局にお問い合わせください。